

## ●道頓堀川水門・東横堀川水門

現在の水門は、高潮の防御、水位の制御などの治水的な役割に加え、水質の浄化機能や閘門機能などを備えています。

### ■水門のはたらき

#### ①高潮の防御

大雨や高潮により水位が上昇する時は、水門を閉め、まちを洪水から守ります。

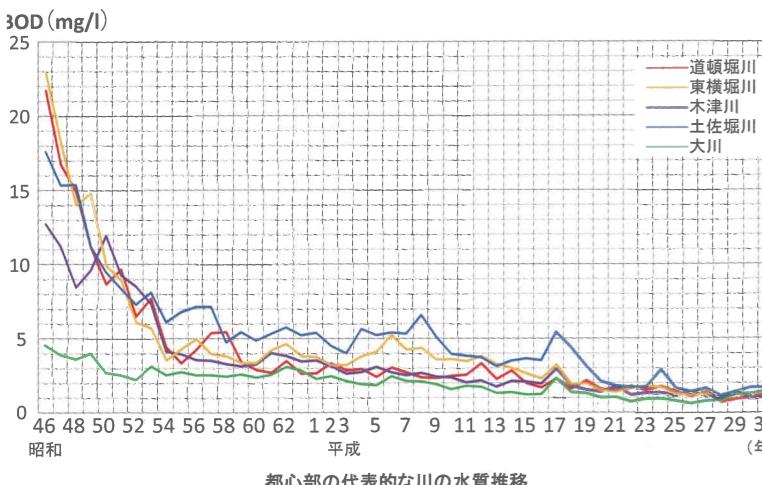
#### ②水位の制御

道頓堀川や東横堀川は、潮の干満によって水位が変動する感潮河川であることから、水位を両水門により一定の範囲内で制御します。



## ■道頓堀川の水質

近年、水門操作による河川浄化などの様々な水質改善対策を行ってきた結果、水質は年々向上し、現在ではBOD(\*1)が3mg/l以下の良好な河川水質になってきています。



\*1【BOD(生物化学的酸素要求量)】  
水中の汚濁物質が微生物によって分解されるとき必要とする酸素の量をいい、数字が大きいほど水が汚れていることを示します。

## ■道頓堀川に生息する魚類

近年、河川の水質は浄化対策などにより徐々に改善され、魚が泳ぐ姿も見られるようになりました。



●コウライモロコ



●オイカワ



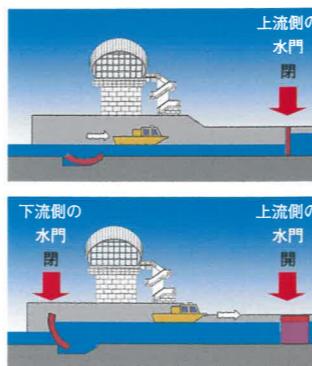
●ブラックバス



●ブルーギル

### ③閘門機能

水門の前後で水面の高さが違う時、水面の高さを一定に保ち、船舶を航行させることができる閘門機能を有しています。



### 上) 船が入るとき

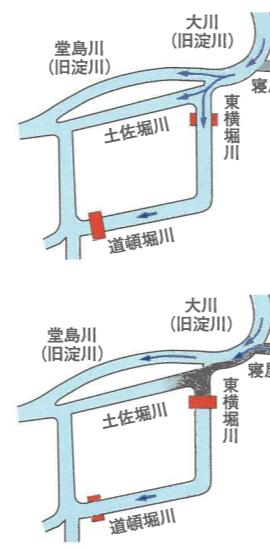
- 船が水門内に入ります。
- 上流側の水門は閉じています。

### 下) 船が出るとき

- 下流側の水門を閉め注水します。
- 上流側と水位が揃えば上流側の水門を開け、船を通します。

### ④水門操作による河川浄化

上流の東横堀川と下流の道頓堀川の水門を制御することにより、寝屋川からの汚れた水の流入を阻止し、大川(旧淀川)のきれいな水を東横堀川・道頓堀川に導入しています。



#### 【1. 満潮時前後】(右図上)

- 水位が潮汐変化に伴い上昇する満ち潮時に各河川の水門を開放
- ※満ち潮時は、寝屋川からの河川水の流入が潮汐変化に伴い阻止される

#### 【2. 引き潮時】(右図下)

- 引き潮時にかかる時に、東横堀川水門を閉め、寝屋川からの河川水の流入を阻止する
- ※引き潮時は、寝屋川からの河川水が下流へ流下

## ■大阪の川～いまむかし

大阪は淀川の河口部に発達したまちで、その骨格は縦横に走る堀川によって形成されています。それらの堀川の多くは、16世紀末から18世紀にかけて開削されたもので、近代まで市民生活、経済活動を支えてきました。

都心部の堀川の多くは、市内人口の増加と産業の発達などによる水質汚濁や、自動車交通の進展などにより埋め立てられました。

しかし、都心部において長堀川や薩摩堀川など、今はなき堀川の痕跡が見受けられます。

このように、数々の堀川は道路などに姿を変えましたが、現在も市域における川の面積は約1割を占めていることから、大阪は水面に恵まれている都市であることがいえます。



■浪花大湊一覽 歌川貞秀画(大阪府立中之島図書館所蔵)

### ■姿を変えた主な都心部の川

- 1: 天満堀川
- 2: 曽根崎川
- 3: 江戸堀川
- 4: 京町堀川
- 5: 阿波堀川
- 6: 海部堀川
- 7: 百間堀川
- 8: 西横堀川
- 9: 薩摩堀川
- 10: 立売堀川
- 11: 長堀川
- 12: 堀江川



■江戸時代の大坂の中心部 改正増補國宝大阪全図 文久3年(1863)

## ■大阪の川と文化

天神祭のように川を舞台とした祭が行われるほか、錦絵や文学などでは、川を題材としたものが多く見られ、大阪の川と文化は古くから深い関わりがあることがうかがえます。

### ■川と錦絵



■浪花橋夕涼 歌川国貞画  
■八軒屋着船の図 歌川国貞画(大阪府立中之島図書館所蔵)

### ■川と文学

大阪の川は、古くは日本書紀に登場し、以後も元禄文学や現代文学において、舞台や題材として取り上げられています。

■元禄文化を支えた文豪  
井原西鶴(上左:1642~1693)と  
近松門左衛門(上右:1653~1724/誕生年は推定)

下:与謝蕪村(1716~1783)生誕地の碑と  
『春風鳥居曲』の句碑  
(淀川河川公園毛馬堤防上)



### ■天神祭

天神祭は菅原道真公を御祭神とする大阪天満宮の祭礼です。京都の祇園祭、江戸(東京)の山王祭あるいは神田祭となならんで日本三大祭の一つに数えられ、毎年100万人以上の観光客で賑います。

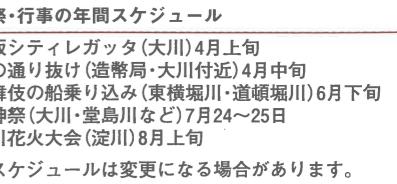
### ■川と祭・行事



■摂州難波橋天神祭の図  
(諸国名所百景)歌川広重(初代)画  
(大阪府立中之島図書館所蔵)



■現代の天神祭



■歌舞伎の船乗り込み  
川の祭・行事の年間スケジュール  
●大阪シティレガッタ(大川)4月上旬  
●桜の通り抜け(造幣局・大川付近)4月中旬  
●歌舞伎の船乗り込み(東横堀川・道頓堀川)6月下旬  
●天神祭(大川・堂島川など)7月24~25日  
●淀川花火大会(淀川)8月上旬  
上記スケジュールは変更になる場合があります。